

令和5年度 DX・BIM/CIM・ICT への取組

(一社) 栃木県建設業協会



一般社団法人 栃木県建設業協会

令和5年度 DX・BIM/CIM・ICT 講習・研修会など

開催数

20 回

Webオンライン : 1回
ハイブリッド : 2回
サテライト : 1回

【ハイブリッド講習会】
会場受講とWebオンライン受講を併用したハイブリッド方式

受講者数

766 名

【受講者数 内訳】

国65名、県13名、市・町8名、団体9名、民間653名、
高校生17名、大学生1名

インフラ
DXセミナー

受講者延べ人数

647 名

【受講者延べ人数 内訳】

県132名、測量会社85名、設計コンサルタント89名、
市町16名、建設会社257名、ソフト・機器メーカー3名、
その他65名

栃木県 i-Construction 推進県部会



とちアイコン

検索

【これまでの開催数・受講者数】

令和元年度「7回 : 189名」

令和2年度「10回 : 135名」

令和3年度「19回 : 649名」

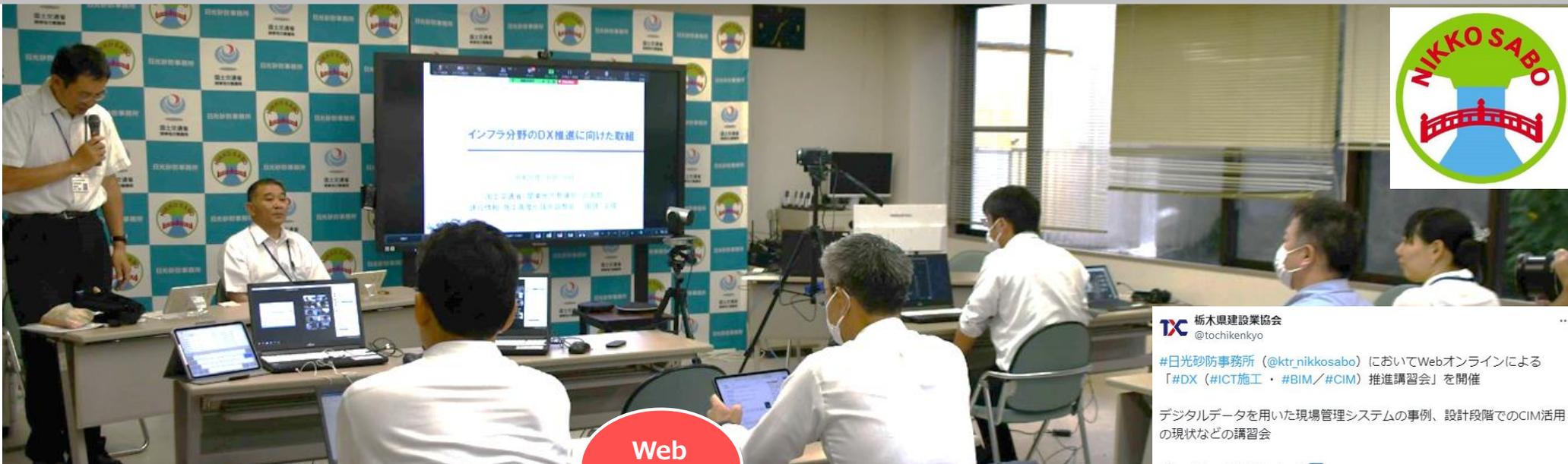
令和4年度「21回 : 663名」

参加者 **313名**

令和5年8月9日

DX (ICT施工・BIM/CIM) 推進講習会

主催：国土交通省 日光砂防事務所
共催：(一社) 栃木県建設業協会



Web
オンライン



TX 栃木県建設業協会 @tochikenkyo
#日光砂防事務所 (@ktr_nikkosabo) においてWebオンラインによる「#DX (#ICT施工・#BIM/#CIM) 推進講習会」を開催
デジタルデータを用いた現場管理システムの事例、設計段階でのCIM活用の現状などの講習会
詳しくは、こちらのページ↓
tochiken.or.jp/?p=36162
#とちアイコン #栃木県建設業協会



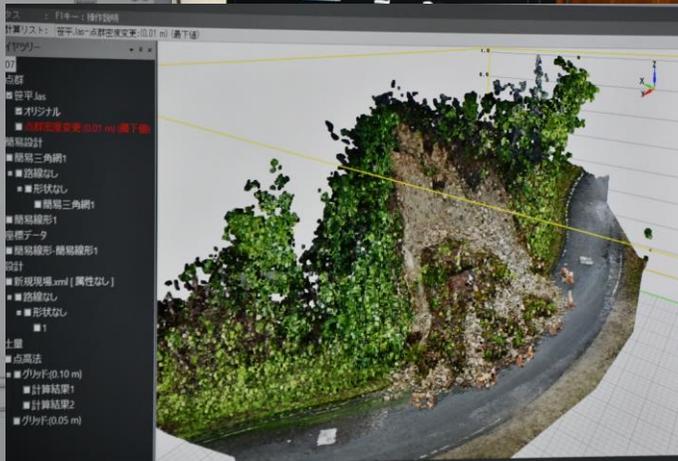
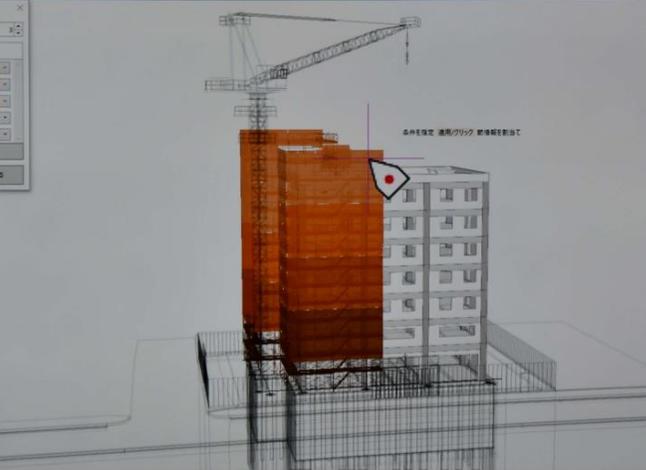
国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所において「DX (ICT施工・BIM/CIM) 推進講習会」を開催いたしました。
国土交通省では、急速なデジタル化や新たな働き方への転換などを背景に、インフラ分野における3次元データとデジタル技術を活用したDX (デジタル・トランスフォーメーション) を推進しています。
日光砂防事務所と栃木県建設業協会による、DX (ICT施工・BIM/CIM) への理解促進、普及推進を目的とし、3次元設計データを活用するCIMの理解促進、普及推進を目的とし情報共有を図りました。
※Webオンライン (Zoom・Microsoft Teams) を用いたオンラインセミナー方式

開催数 **7回** 参加者 **122名**

BIM/CIM 講習会

「ICT活用工事のソフト操作セミナー」
令和5年10月13日、11月10日、令和6年1月16日
「BIM講習（建築技術者コース）」令和6年1月25日、2月22日
「CIM講習（土木技術者コース）」令和6年1月26日、2月16日

パソコン
操作実習



「ICT活用工事のソフト操作セミナー」

⇒ICTの概要、起工測量、3次元設計データの作成や3次元によるデータの納品など、受講者がパソコンソフトを使用した一連の操作手順を習得。

「BIM講習会」

⇒建設技術者コース向けとして「BIM活用事例紹介・CAD基本操作演習・モデル入力、活用」など、BIMを用いた施工プロセスの実践的な演習を行いました。

「CIM講習会」

⇒土木技術者コース向けとして、BIM/CIMの現状や事例紹介、BIM/CIM実習として「3D設計データを活用したCIMデータの作成」など、実践的な演習を行いました。



会場とWebオンラインに別れての開催

ハイブリッド講習会

「建設ディレクター」⇒建設業界における「時間外労働の上限規制」の導入が迫っており、働き方改革がますます急務となっています。そのため、現場業務の効率化を図るためのセミナーを開催しました。このセミナーでは、「建設ディレクター」のテーマを中心に、実際の事例を紹介しながら、業務改善のヒントを提供しました。

「ICT土工研修」⇒ICTに関する研修を2日間にわたり、会場とWebオンライン参加によるハイブリッド研修を開催。講師についても会場やオンラインでの講義に別れて行いました。

"全国建設産業団体連合会" ICT技能向上セミナー

令和5年12月22日、23日 受講者 **46名** 開催数 **2回**



初開催

"栃木県県土整備部"

初めて作るホームページセミナー ～建設業DXへの第一歩～

令和5年12月14日 受講者 **10名**



全国建設産業団体連合会 講師によるセミナーを開催。タブレット型パソコンを一人一台使用して、高価なソフトを使用しなくても書類や写真を整理できる使い方や、情報の社内共有などを学ぶもので、意外と知らないパソコンの基本を習得いただきました。参加者各々のパソコンスキルを再確認しながら、業務に必要なパソコンの「汎用スキル」を向上させ、全社員での業務の効率化が出来ることを目的とし、現場従事者はもとより、経営者・管理者・システム担当者・事務の方々に受講いただきました

栃木県県土整備部 講師によるセミナーを開催。建設業担い手の確保はまさに緊急の課題となっており、建設業への求職者たちが各企業のホームページやSNSにアクセスして、就職先選定の参考としている現状があります。セミナーは、ホームページ作成を通じて、担い手の確保さらには生産性の向上への道筋につながるうえ「QRコードの作り方」や「検索順位を上げる」方法など、ホームページに関するミニ知識についても講演いただきました。

初開催

とちぎインフラDXセミナー

令和5年12月8日

参加者 **647**名 (延べ人数)



栃木県i-Construction推進県部会 主催による「とちぎインフラDXセミナー」を初開催。ICT活用工事等のインフラ分野のDXを推進するため、地域建設業に携わる『経営者』『技術者』『発注者』を対象としたセミナーでは、国土交通省関東地方整備局企画部や国認定の「関東地整ICTアドバイザー」でもある、栃木県建設業協会 会員企業 講師による、経営面から見たDXの必要性などについて講演を行いました。また、展示ブースにおいては最新の測量機器やソフトウェア等を展示いたしました。

いまさらきけないICT技術活用

令和5年6月29日 受講者 **113名**



第1部では、栃木県県土整備部より、「栃木県県土整備部におけるICT活用工事の紹介」として、栃木県が行うICT活用工事の取組状況や、活用事例について解説を致しました。第2部では、ICT工事に精通している講師に、これからICT工事を行う上での活用方法などについて説明をいただき、最後に、意見交換として、関東地方整備局ICTアドバイザーを講師に業者が抱える課題や懸念事項について助言をいただきました。

覗いてみよう現場のDX (サテライト形式)

令和5年11月15日 受講者 **30名**



建設業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目的として、同セミナーを開講しました。セミナーはサテライト方式となっており、講師は、（一社）日本機械土工協会の技術委員長、委員の方が務めました。

【担い手確保育成】 高校生ドローン飛行体験会

開催数 **3回** 受講者 **17名**

令和5年5月2日、5月11日、9月14日



建設業のICT技術やドローン操縦の体験を通じて、高校生に建設業の新しい側面を知ってもらい興味を持ってもらうよう建設業界全体で、担い手確保育成事業に取り組んでいます。